Fine Heart

平成28年10月
妹尾中学校
保　健　室

暑い日があれば、肌寒く感じる日もあり、体調管理が難しい時期ですが、みなさんは元気に過ごせていますか？
先日、第２回オフメディアチャレンジを実施しました。試験期間中なので取り組めたという人が多かったですが、ついダラダラと過ごしてしまった人もいるようです。今回の感想の中に「ケータイをとろうとしたとき、テレビをつけようとしたときなどに少し考え、〇〇したらやめようと自分で決めてメディアを使うことができました。」と書いている人がいました。結局、自分でやるかやらないか、ということだと思います。オフメディアなんて意味がないと思っていては取り組めないですね。自分でめあてを決めて取り組むことに意味があると思います。
次回は１２月の試験期間中でない平日に実施しようと計画しています。普段どれだけメディアに頼っているかを確認するいい機会になればいいと思います。

「いのちを育む授業」がありました

３年生を対象に「いのちを育む授業」が実施されました。
１回目は９月３０日（金）に赤ちゃん人形を用いての実習、２回目は１０月６日（木）に実際の赤ちゃんとの触れあい体験、３回目は１０月７日（金）に三宅医院の助産師さんをお招きして講演会を行いました。その授業の様子を紹介します。

＜１回目＞

愛育委員さんやPTAボランティアの方にお越しいただき、各グループごとに赤ちゃん人形で抱っこの練習をしました。人形とはいえ、おそるおそる抱っこする姿がほほえましく、慣れた頃には「本当の赤ちゃんみたいにかわいい～」と笑顔で過ごしていました。

＜２回目＞

２５組もの赤ちゃんボランティアの方が来てくださり、各グループ２～３人の赤ちゃんを順番に抱っこさせてもらいました。お母さんからは、たくさんの体験談を聞かせてもらいました。

－赤ちゃんとのふれあい体験やお母さんのお話を聞いての生徒の感想－

ほっぺたや手を触ったらぷにぷにしていて、ふわふわで、ほんとに小っちゃくて、抱っこをしたら泣いた子もいるけど、笑ってくれたり、手を握ってくれたりした子がいてうれしかったです。

お母さんの妊娠中にお父さんの存在もとても大切だったそうです。「大丈夫？」と声かけしてくれるだけでもうれしかったそうです。

赤ちゃんの寝顔を見たら、幸せな気持ちになった。

子どものおかげで親が強くなれることもあると思った。自分の親に感謝しないといけないと思った。

＜３回目＞

三宅医院で助産師をされている山村ひろ子さんから「いのちの大切さを考えよう　ー今の自分、将来の自分ー」という演題でお話をしていただきました。
妊娠したすべての子が生きて生まれてこられるわけではないことなど体験談を交えてお話くださり、いのちを大切にしようというメッセージをくださいました。

－お話を聞いての生徒の感想－

自分たちが今ここにいること自体がキセキだということを教えてくれました。今まで親に生んでくれてありがとうの感謝の気持ちをあまり持ったことがなかったけど、この話を聞いてあらためてありがとうの気持ちを親に伝えようと思います。

おなかの中にいる赤ちゃんの画像をみて、命がうまれることは本当にすごいことなんだなと感じました。そんな大切な命を自ら絶つというのは本当に悲しいことだなと思いました。思い悩んで自分では解決できないことがあれば、周りにいる人に相談することが一番いいなと思います。

保健室からのお知らせ

１１月１１日 金曜日　１３：４５～１５：００に、助産院ミントハウスの代表助産師の東森 二三子（ひがしもり　ふみこ）先生を講師にお迎えして、１年生対象に、性教育講演会を行います。「いのちのバトン」と題して、妹尾中学校体育館での講演となります。いのちの重みを知り、自分を大切にする心を育んでほしいという願いで、事例を通してのお話をわかりやすくしていただきます。保護者の方はどなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。